

## 火災避難訓練実施

2月14日(水)、しおさい春日としおさい三崎で、火災避難訓練を実施しました。

### ■しおさい春日(のぞみと合同)

午前9時30分、湯沸し室から出火したという想定で、職員の“火災発生”の声で全員が中庭へ避難しました。その後、消火器の使い方の説明と実践が行われました。メンバーの中には消火器の操作にとまどっていた人もいましたが、真剣に臨んでいました。



### ■しおさい三崎

午前10時30分、厨房より出火したという想定で、“火災発生”の声で全員が公園前の駐車スペースへ避難しました。その後はしおさいの駐車場に戻って春日と同じ訓練を行いました。



### ◆講評

訓練終了後、消防署員から、①火災が発生したら大きな声で“火事だ”と周囲の人に知らせる。もし声が出せないならモノを叩いて非常事態であることを知らせる。②寝ている時に火災が発生した時、焼死するよりも煙を吸って一酸化炭素中毒で亡くなる人が多いので、寝室に火災報知器を取り付ける。③台所から出火した際、2階の人にも早くわかるように階段の上の天井にも火災報知器を付けて欲しい。というお話がありました。

## 統合失調症ネットワークで発表

2月21日（水）、銚子プラザホテル7階のローズルームを会場にして「銚子地区統合失調症ネットワーク」（主催・大日本住友製薬株式会社）が開催され、第1部の基調講演「社会復帰を可能にした地域の他職種連携～私たちの地域生活～」で、しおさい三崎のメンバーが「私の生活紹介」というテーマで、グループホームやしおさいでの様子の写真を紹介しながら説明しました。また、海上療養所の佐多医師と同療養所のデイケアに通所している男性も登壇して、日常生活などの様子を説明しました。



2人の当事者のそれぞれ違った生活スタイルを参加者の方々に紹介したことにより、わずかに二例ではありますが、障害のある人の生活の一端を理解して頂けたのではないのでしょうか。



## ジャガイモ切り

先日、畑に植える種ジャガイモを切る作業を行いました。左下の写真は、カレーや肉じゃがなどに適している「メイクイン」のカット作業、中央は、粉ふきイモやポテトサラダに適している「キタアカリ」のカット作業、右下は、栗のような甘さの「インカのめざめ」で、3月に入り畑へ植えています。



## しおさい20周年記念誌 完成

このほど、しおさい創立20周年を記念して編纂した記念誌が完成しました。

内容は、行政関係者やボランティアの方々、元職員の祝辞と寄稿文、20年のあゆみ、思い出のアルバム、本文を補完する各種資料などを掲載した52ページの冊子です。

完成した記念誌は、祝辞や寄稿文を執筆して下さった方々やしおさいのメンバー、職員その他、法人の各事業に関わっている職員、関係のある法人や団体、個人に配布しました。資料部分も含めてWordで作成したので手作り感いっぱいの冊子ですが、写真を見るだけでも楽しいと思います。時々この記念誌のことを思い出した時にでも見て頂ければ幸いです。捨てないでね。



### ～編集後記～

上の本文でも書きました通り、しおさい20周年記念誌が完成しました。予定より1年遅れてしまいましたこととお詫び申し上げます。記念誌は関係している方々にお送りしましたが、国立国会図書館にも送りました。これは、国内で発行された書籍類は法律で納本が義務付けられているからです。納本先の国立国会図書館東京本館は、国会議事堂の北側にあり地上6階（本館）、地下8階（新館）で、書庫の収蔵能力は1200万冊とのこと。本館の他、関西館（京都府精華町）と国際子ども図書館（東京都台東区）があります。しかし、一般の図書館とは違って貸し出しを行っておらず、館内での閲覧に限られていて、入館に際しても初めての人は登録し、ICカードを発行してもらう必要があります。国会議員だけでなく一般の国民も利用は可能ですが、ちょっと気軽には利用しづらい感じの図書館ですね。さすが国立の図書館です。